

福 井 県 医 師 会

だより

第716号 令和3年(2021)2月



波紋 鯖江市 今野 利男

表紙写真説明：波紋

鯖江市 今野 利男

鯉が水面近くを泳ぐと波が立ち、光線の具合でいろんな形の波紋が見られます。背鰭が水面から出た場合これとは全く違う波紋になり、深く泳いだ場合は波紋は見られません。この波紋が見られる条件はとても限られています。晴れていて無風、鯉の位置が日陰、そして背鰭が水面から出ない程度に浅く泳ぐことですが、それを満たしてもなお簡単に見られるものではありません。

醫 縫 録

福井県健康管理協会理事長 就任にあたって御挨拶

(公財) 福井県健康管理協会理事長 岩 壁 明 美



立春の候 会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より当協会の事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年6月の理事会、評議員会において、公益財団法人福井県健康管理協会理事長に就任し、身に余る重責に緊張してこの半年余りを過ごして参りました。また、醫縫録に拙文を掲載する機会を賜り大変光栄に存じております。

当協会は、昭和45年8月、がん対策の推進を目的に、県医師会が基本財産を出資され、「財団法人福井県成人病予防協会」として発足、昭和49年7月、「財団法人福井県健康管理協会」に改組し、県内全域において各種がんの集団検診を一元的に実施するなど、がんの早期発見、県民の健康増進に努めてまいりました。

その後、ふくい健康の森（県民健康センター、温泉・スポーツ施設）の指定管理者になるなど事業規模を拡大し、平成25年、福井県知事から「公益財団法人」の認定を受け、令和2年8月には、設立50周年を迎えたところのごさいます。これもひとえに、長年にわたり当協会の事業運営に並々ならぬご指導を賜りました県医師会や会員の皆様、県や市町など関係機関の皆様方のご愛顧の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度のがん検診は7月からの開始となったうえ、3密対策の取組みも求められたことなどから、今年度の受診者数は、対前年比約7割程度の見込みとなっており、がんの早期発見に深刻な影響が懸念されます。

また、コロナ禍は、集団検診を中止する市町や人数制限により集団検診の受診者数が減少する中で、個別検診へと移行する傾向を強めています。

個別：集団の割合は、昨年度には4：6でしたが、今年度はその割合が逆転する見込みとなっています。がん検診登録医療機関の皆様には、感染対策を講ずるなど円滑な検診の推進にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会では、県医師会や県、関係機関と連携のもと、がん検診の精度管理の向上、受診率向上のための普及啓発、がん検診に関する調査研究等を推進しております。

今年度は、がんが発見されにくいという高濃度乳房など乳がん検診の課題を解決するため、デジタル乳がん検診車の導入とデジタル乳がん検診読影システムの整備を進めており、新年度からは、県下の読影医、主要病院の全面的な協力を得ながら新たな乳がんの精度管理を始めます。子宮頸がんについては、福井大学医学部の未受診者に対する自己採取HPV検査の有用性検証研究に引き続き協力いたしております。また昨年5月には、県からの依頼を受け、新型コロナウイルス感染症治療の最前線で働く医療従事者等を支援する「心をひとつにふくい応援基金」の管理者を務めております。

今後とも、県民の皆様から信頼される専門機関を目指し、職員一同研鑽に励みレベルアップの努力を重ねるとともに、マイクロRNA検査など革新技術の動向にも注意を払いながら、新たな時代に即した事業に取り組んでまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の早期の終息を祈りつつ。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。